

## 第9回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

- 1 日時 平成26年10月20日(月) 午後2時～午後3時30分
- 2 場所 蒲郡市役所 本館 303会議室
- 3 出席者
- |     |                        |           |
|-----|------------------------|-----------|
| 委員  | 愛知工科大学自動車短期大学自動車工業学科教授 | 橋本孝明      |
| 委員  | 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授  | 松本幸正 (欠席) |
| 委員  | 愛知運輸支局                 | 後藤英丸      |
| 委員  | 愛知県交通対策課               | 古橋昭       |
|     |                        | (代理 尾崎弘幸) |
| 委員  | 総代連合会会長                | 大場克海      |
| 委員  | 総代連合会副会長               | 成瀬正明      |
| 委員  | 総代連合会副会長               | 天野忠則      |
| 委員  | 蒲郡市身体障害者福祉協会           | 原田ます子     |
| 委員  | 蒲郡市老人クラブ連合会            | 市川紀子      |
| 委員  | 蒲郡市社会福祉協議会             | 金原久雄 (欠席) |
| 委員  | 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会        | 林明子       |
| 委員  | 蒲郡商工会議所                | 小池高弘      |
|     |                        | (代理 佐藤康彦) |
| 委員  | 蒲郡市観光協会                | 杉山和弘      |
| 委員  | 名鉄バス東部株式会社             | 富田尚之      |
| 委員  | 豊鉄タクシー株式会社             | 小川健司      |
| 委員  | 株式会社かねー自動車             | 石田寛       |
| 委員  | 公益社団法人愛知県バス協会          | 古田寛       |
| 委員  | 愛知県タクシー協会              | 山田透       |
| 委員  | 愛知県交通運輸産業労働組合協議会       | 小林宏       |
|     |                        | (代理 白井淳)  |
| 委員  | 愛知県蒲郡警察署               | 中野義久      |
| 委員  | 東三河建設事務所               | 大谷光司      |
| 委員  | 蒲郡市長                   | 稲葉正吉      |
| 委員  | 蒲郡市総務部長                | 井澤勝明      |
| 委員  | 蒲郡市企画部長                | 大原義文      |
| 委員  | 蒲郡市市民福祉部長              | 鈴木富次      |
| 委員  | 蒲郡市建設部長                | 野澤伸天      |
|     |                        | (代理 近藤孝幸) |
| 委員  | 蒲郡市産業環境部長              | 荒島祐子      |
| 委員  | 蒲郡市都市開発部長              | 壁谷仁輔      |
| 事務局 | 蒲郡市安全安心課長              | 藤川弘行      |
|     | 蒲郡市安全安心課長補佐            | 竹下暁       |

蒲郡市安全安心課主事  
オブザーバー 名古屋鉄道株式会社  
連携計画推進事業受託事業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会  
社 1名

足立昌平  
溝口明宏

4 傍聴人 4人

5 議題

(1) あいさつ

6 協議事項

(1) 蒲郡市地域公共交通会議予算について

(2) 形原地区支線バス試験運行計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】

(3) 路線バス再編検討案について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2】

7 報告事項

(1) 平成26年度夏休み小学生50円バス実施結果について・・・・・・・・・・【資料3】

(2) 形原地区支線バス愛称・シンボルマークの募集について・・・・・・・・・・【資料4】

8 その他

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 開始時点で出席委員が26名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及びオブザーバーとして名古屋鉄道株式会社、連携計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

- ・ 蒲郡市長、稲葉正吉より、今日の会議の主な議題としては、形原地区における支線路線の運行計画及び、地域バス協議会で協議しておりました、路線バスについてである。形原地区における支線路線の運行計画につきましては、来年度4月からの実証運行を目標とし、9月議会に補正予算を上程し、議決された。地域公共交通会議の決定前に報道発表等されたことについては、ご了承いただきたい。今回から形原地区公共交通協議会の事務局長にも、委員として参加いただいている。運行計画は、この協議会で主体となって検討した計画であり、地域で創り、守り、育てることを体現できたと思うとの挨拶があった。

イ 追加委員あいさつ

- ・ これまでの交通会議の協議を通して、モデル地区として選定いただいたことについてお礼を申し上げたい。地域では、何が何でも成功させたいとして、一致団結しており、委員の皆様には、ご指導ご協力をお願いしたいとの挨拶があった。

### (3) 協議事項

#### ア 蒲郡市地域公共交通会議予算について

- ・ 事務局より当日配布資料に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

〔質 疑〕

なし

#### イ 形原地区支線バス試験運行計画（案）について

- ・ 事務局より資料 1 に基づく説明が行われ、事業者選定の着手について全会一致で承認された。

〔質 疑〕

（委 員）

- ・ 資料 1、6～7 頁の※印について、ダイヤは、実走を通して設定するとしている。実際の運行には、運賃箱にお金をいれたり、高齢者は、乗降に時間がかかるなどするため、ゆとりをもった走行を心がけてほしい。
- ・ 資料 1、2 頁の車いすの使用を制限した適用除外申請とあるが、バリアフリーの基準は、いろいろある。バリアフリー基準の適用除外とする表現に修正をお願いしたい。ハイエースの車両とすることを協議会で設定すると決定すれば、2 ヶ月程度の時間があれば、適用除外申請の手続きができると考える。運行計画について、協議会で承認し、運行路線の申請と同時期に適用除外申請をお願いしたい。

（委 員）

- ・ 料金設定について、子供を 50 円としているが、子供の人数だけそれぞれ座席を必要とするのか。

（事務局）

- ・ 子供も大人と同様 1 人分の座席を利用することになる。

（委 員）

- ・ 運行日について、木曜日を想定した理由を教えてください。木曜日は、午後は病院が休診としており、利用が少ないのではないかと。また、月曜日の利用が多いが、月水金、あるいは月火土としないのか。

（委 員）

- ・ 運転手の休憩箇所として想定する形原地区の公民館が月曜日はお休みであり、また、土曜日は子供の利用を想定したい。火木土とすることで、運転する日も覚えやすいとして設定した。木曜午後の休診は、把握しているが、行く日を変えるなどして対応してもらいたい。長寿会などとも協議し、承認していただいている。

（委 員）

- ・ お年寄りには朝が早い。病院にも午後よりも午前中に行かれる方が多いそうで、あまり抵抗はないと考えている。

(委員)

- ・ 名鉄三河鹿島駅からの右折は危くないか。

(委員)

- ・ 他の道路の整備もあり、昔ほど交通量はない。少なくなっている。

(事務局)

- ・ 駅付近の空きスペースに停留所を設置し、この部分で転回気味に右折する形になるので、十分、安全確認を心がけていただきたいと考えている。

(委員)

- ・ ルート設定上、地元としてはUターンさせたい。バックは出来ないため、Uターンする形になるが、安全運行を心がけた対応を求めたい。

(委員)

- ・ この支線バスは、鉄道等の幹線に対する支線となる。名鉄三河鹿島駅・形原駅との乗り継ぎについて、時間的余裕はあるか。利用する人は、主に高齢者だと思うが、乗降のスピードの話もあったが、試走した結果からはいかがか。

(事務局)

- ・ 試走については、乗降時のゆとりなど意識したつもりだが、事業者選定後の実走を重ねて、再確認したい。
- ・ 資料1、8頁に鉄道・路線バスとの乗り換え時間について確認をさせていただいた。乗り換えを想定した利用を示している。事業者選定後、実走を通して対応できるか、ダイヤの再確認を行う。

(委員)

- ・ バスとの接続は、3分しかないものがあるが、乗り換えを考慮して、路線バスの発車を待たなければいけないか。

(事務局)

- ・ 接続を前提として、待ってもらうまでの必要は想定していない。天候等の状況で、遅れるなどあると思うが、再確認時にきめ細やかに対応したい。

(委員)

- ・ 形原の支線バスと路線バスのバス停留所位置はすぐ近くにある。
- ・ 高齢者であればタクシーチケットを活用しのタクシー利用など別の方法もあり、路線バスを待たせるなどの接続を要請までは想定していない。

(委員)

- ・ 住民のみなさんが、接続を前提とすると、通信手段などの対応が必要となるので、確認させていただいた。

#### ウ 路線バス再編検討案について

- ・ 事務局より資料2に基づく説明が行われ、ダイヤについては蒲郡市地域バス協議会で再検討することとし、変更については全会一致で承認された。

〔質 疑〕

(議 長)

- ・ ご利用されている方以外、他の地区の人には分かりにくいかもしれないが、東側地区からの利用や両方向運行など利便性が増すことになる。

(委 員)

- ・ 両回りになることで、これまで高い運賃を支払い利用されている方が、逆回りで速く安くなる。こうした利用ができる人が少なくとも5人程度想像できる。今回の変更は、良い対応だと思う。

(委 員)

- ・ 資料のルート変更について、赤い点線から緑のルートに替わるというのは、新設すると理解してよいか

(事務局)

- ・ 新設という定義がわからないが、指摘の通り、現在は赤い点線で運行しており、緑のルートに変更すると理解してほしい。

#### (4) 報告事項

##### ア 平成26年度夏休み小学生50円バス実施結果について

- ・ 事務局より資料3に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

なし

##### イ 形原地区支線バス愛称・シンボルマークの募集について

- ・ 事務局より資料4に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

なし

#### (5) その他

(事務局)

- ・ バス停留所標識等の準備のため、12月議会で補正予算を上程する。
- ・ 次回の地域公共交通会議の開催は1月15日を予定との連絡を行い会議は終了した。